

### 3. 総合型選抜講義入試（専願）

#### ■ 試験会場

	兵庫県	沖縄県		石川県
	尼崎キャンパス	宮古島キャンパス	那覇会場	加賀会場
1期	●	●		
2期	●	●		
3期	●	●		
4期	●	●		
5期	●	●		
6期	●	●		

#### ■ 試験日程

日程	出願期間 ※書類締切日：消印有効	試験日	合格通知日	入学手続き	
				一次	二次
1期	9月1日(火)～9月11日(金)	9月19日(土)	10月 2日(金) 内定通知 11月 1日(日) 合格発表	11月11日(水)	11月25日(水)
2期	9月11日(金)～9月25日(金)	10月 3日(土)	10月16日(金) 内定通知 11月 1日(日) 合格発表	11月11日(水)	11月25日(水)
3期	9月25日(金)～10月16日(金)	10月24日(土)	11月 1日(日)	11月11日(水)	11月25日(水)
4期	10月16日(金)～12月 4日(金)	12月12日(土)	12月18日(金)	1月 7日(木)	1月21日(木)
5期	12月 4日(金)～ 2月 5日(金)	2月13日(土)	2月19日(金)	3月 8日(月)	3月18日(木)
6期	2月 5日(金)～ 3月 1日(月)	3月 9日(火)	3月16日(火)	3月23日(火)	3月23日(火)

#### 1期における入試選考方法および内定通知・合否通知について

1期では、10月2日（金）に内定通知として確認テスト、面接および書類審査の結果をお知らせします。合格内定の方には、内定通知書とともにレポート課題を同封しますので、自宅で解答（レポート作成）し、指定する期日までに郵送により提出してください。確認テスト、面接、および書類審査の結果とレポート課題を総合的に評価し、11月1日（日）に合否を通知します。

#### ■ 募集対象者

本学の建学の精神ならびにアドミッションポリシーを理解する者

#### ■ 出願資格

以下のすべてに該当する者

- ①大学入学資格（3ページ参照）を有する者
- ②高等学校・中等教育学校を令和9年3月に卒業見込みの者、また令和7年、8年に卒業した者
- ③本学専願者（本学のみを志願し、合格すれば入学を確約する者）

#### ■ 選考方法・配点・時間割

選考方法等		試験時間
選考項目	配点	
①講義の受講（45分）と確認テスト（30分） 志望する学科の講義に参加後、内容の理解度を確認するテストを受ける。	100点	講義 10:00～10:45 (45分)
		確認テスト 11:05～11:35 (30分)
②面接試験 ・一人20分	100点	20分
③書類審査 調査書：学習成績の状況（評定平均値）を基本とし、本学の定める基準に基づき得点化します。 その他の出願書類は学科のアドミッションポリシーに基づき記載内容を評価します。	50点	

## ■ 出願書類

### 志望理由書・活動報告書、調査書

※出願書類についての詳細は8・53ページを必ずご確認ください。

## ■ 講義内容

日程	授業タイトル	内容
1期	ローカルガストロノミーツーリズム	国がオーバーツーリズム対策の政策の柱に置くインバウンド観光客の「地方部への誘客の推進」を実行する上で、訪日の目的として期待が高い「食」に焦点を当て、特に地方部の観光目的化した飲食施設を中心に地産地消について着目した講義を行います。
2期	地域をつなぐエアライン・ビジネス	エアラインというと旅行のための移動手段の一つと考えがちですが、島国である日本でエアライン・ビジネスが果たす役割は多様です。インフラとしての役割について事例を学びます。
3期	つくられる聖地～宗教と観光～	恋人の聖地、アジフライの聖地など、日本にはさまざまな「聖地」があります。そもそも「聖地」とは「宗教」に深く関連する言葉だったはずなのですが、現代では新しい「聖地」が次々に生み出されているのです。こうした現代的な現象を「世界遺産」をキーワードにして考えてみたいと思います。
4期	コンテンツツーリズム ～アニメの聖地巡礼は地域に何を与えるのか～	現代において日本のアニメ産業は観光における重要なポジションを占めています。アニメの聖地巡礼が地域に与える影響を、事例を交えながら講義を行います。
5期	観光と自然環境	優れた自然環境は、各地において観光の主要な対象とされています。観光資源となる自然環境に求められる特質とはどのようなことか、また、そのような自然環境の価値の保全には何が必要か考える講義を行います。
6期	島しょ環境における水資源と観光振興	リゾートアイランドとして注目される沖縄県宮古島は、慢性的に農業用水が不足した歴史を持つ島しょ環境にあります。そして、水資源を恒常的に確保するために建設されたのが「地下ダム」です。本講義では、宮古島の水資源の歴史と観光振興について、オーバーツーリズムなどで懸念される島内の水資源の配分をどのように実現すべきかを解説します。